

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	06040203	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	庁舎維持管理事業	担当部署名	総務課			
		作成責任者職氏名	課長 森田洋文	内線	221	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	06協働・行政経営	04健全な行財政運営	02行財政改革の推進			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>庁舎内外の適切な維持管理を図る。</p> <p>②内容</p> <p>庁舎設備の維持、修繕、清掃、庁舎内環境の維持、来庁者用の駐車場の確保</p>	<p>来庁者及び村職員</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>庁舎内外のよりよい環境</p>	<p>施設の老朽化や耐震化</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費					
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)
		事業費(予算)	実績(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)	16,122	22,654	17,502	20,371	20,371
財 源 内 訳	国庫支出金				
	府支出金				
	分担金・負担金				
	使用料・手数料				
	起債				
	52	40	52	40	40
一般財源	16,070	22,614	17,450	20,331	20,331
人員費					
一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,767	1,767	1,767	1,767
総コスト費(千円)(A+C)	17,786	24,421	19,269	22,138	22,138
人口あたりコスト(円)	2,935	4,030	3,180	3,653	3,653

(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	来庁者及び職員が庁舎を使用するにあたり適切な維持管理が必要であり大いに貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	防水修繕工事の実施など適切に維持管理を実施している。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	維持管理業務委託について、入札実施など効率化を図っている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	すべての村民が利用できる施設であり公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	88%	#DIV/0!	b
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
庁舎内外の適切な維持管理を図るものであり、引き続き実施する。今後、施設の老朽化や耐震化への対応が必要である。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
庁舎内外の適切な維持管理を図るものであり、引き続き実施する。今後、施設の老朽化や耐震化への対応が必要である。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	/
(3)行政経営戦略会議結果	
庁舎内外の適切な維持管理を図るものであり、引き続き実施する。今後、施設の老朽化や耐震化への対応が必要である。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止